

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇陀市	代表者名	金剛一智		
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0745-82-3912		
担当者役職	主査	担当者氏名	横谷 友美	連絡先E-mail	
住所	6330292 奈良県宇陀市榛原下井足17-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現在、本市が抱える課題などを詳細に聞き取りをしていただき、組織面や制度面からの問題展の棚卸しを丁寧に行っていた。当方も現状を説明するなかで、言語化と下山様との壁打ちを行う事で、今後取り組んでいかないと行けない課題について認識を深めることができたと考える。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月18日	支援・助言	有	令和6年12月21日	1110
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月27日	支援・助言	10時30分	12時00分	0
				活動時間（分）	90

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今年度中に宇陀市DX基本方針を策定する方向性となっている。今後自治体システムの標準化・共通化などの法律に定められた行政内部のDXに加え、地域社会におけるDXを推進するため、現在本市で取り組んでいるさまざまなDXに関する事業をどのようにとりまとめ、どのように市職員全体でDXに取り組む指針を打ち出していけるかについて整理し、指針の案をブラッシュアップしていく必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市の現状と、今後の課題といった認識を共有したうえで、現時点での指針案を外部からの目線でみていただき、構成や今後の目指すべき所への言及について不備、疑問点等がないか指摘をいただく。それを受けて、指針案に盛り込む文言や項目を修正、精査していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	最初に本市の現状、現行の取り組み内容や、今後計画している動きなどの現状認識を共有し、他市町村の動静や利用できる国の支援制度について情報提供いただいた。また、本市で今検討している窓口DXのプロジェクトについて、他市町村の事例も鑑みながら効果的な進め方についてご助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DXを推進するにあたって、デジタルという名を冠することによりどうしてもデジタルソリューション導入を先行してすすめがちであるが、現状のBPRこそがソリューション導入の前には重要であるということを実例を交えながらお話いただき、今後のDX推進における考え方が修正された。また、職員の意識醸成においては、やはり幹部職員の意識がDX＝単なるIT化といった観念で固定されてしまっている傾向があるので、その層の解きほぐしが重要であるということにより強く実感したことから、今後予定している職員研修の内容に反映させていくこととした。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	1月23日に幹部向け職員研修を開催するため、研修修了後、その様子や参加者フィードバックをうけて今後どのようにDXに関するマインドセットや気運醸成を進めていくか、考え方や関連施策などをどのように方針に盛り込んでいくかを壁打ちしていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	宇陀市DX基本方針を策定し、年度末に公開するとともに、職員のなかにDX推進に関するマインドセットを定着させる。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

